

# 食道がん

# 病院の 実力

～多摩編 114

## 早期なら内視鏡治療も

今回の病院の実力は食道がんを取り上げる。飲酒や喫煙がリスクを高めるとされ、男性に多い。

一覽表の「手術」は、2016年に各病院で行われた食道がん手術の総数を示している。食道を広範囲に切除し、胃を細く伸ばして、のど元でつなぎ、再建することが多い。大がかりで難度が高く、胸を切開して行う開胸手術が主流だ。

「胸腔鏡手術」は、胸に開けた小さな穴から、カメラやメスを差し入れて行う手術法。傷口は小さいが、再手術になる確率は開胸手術より高いとの調査報告もある。取り組む施設が増え

ているが、治療を検討する際は利点だけでなく、注意点についてもよく聞いておきたい。

「内視鏡治療」は、がんが粘膜にとどまる早期がんが対象。胸や首を切開したり、穴を開けたりすることなく、口から食道まで内視鏡の管を入れて、粘膜ごとがんを取り除く。

このほかに、抗がん剤などの「化学療法」や「放射線治療」もあり、これらを組み合わせて治療することもある。

治療法の選択は、がんの進行度だけでなく、治療による負担と患者の体力の兼ね合いも考えて行う。

手術後の回復に時間がかかったり、肺炎などの合併

全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。次回は9月3日「痔の手術」の予定です。

### 病院の実力「食道がん」

医療機関別2016年治療実績

(読売新聞調べ)

医療機関名	手術(件)	うち胸腔鏡手術(件)	内視鏡治療(件)	非切除の化学療法・放射線治療(人)
国立がん研究センター中央	110	47	204	105
順天堂大	106	1	96	50
昭和大	102	102	34	0
慶応大	75	45	106	24
虎の門	71	60	129	31
東京大	62	13	60	59
東京医大	44	26	30	21
東京医科歯科大	43	21	94	21
東京女子医大	42	18	36	27
国立国際医療研究センター	38	19	27	30
慈恵医大	37	23	88	40
日本医大	23	23	26	64
慈恵医大第三	23	6	22	21
NTT東日本関東	21	15	101	6
国際医療福祉大三田	20	19	17	4
日本医大多摩永山	20	19	2	4
東邦大大森	19	15	33	19
東京女子医大東医療センター	16	2	2	8
昭和大江東豊洲	14	9	22	6
武蔵野赤十字	13	1	14	6
日赤医療センター	11	4	6	14
杏林大	9	0	27	36
帝京大	9	4	10	20
三井記念	8	0	14	—
立川	7	—	3	15
東邦大大橋	7	3	0	0
聖路加国際	6	6	40	16
都立多摩総合医療センター	6	6	35	19
公立昭和	6	0	25	21
永寿総合	6	0	2	2
都立広尾	5	0	2	2
八王子消化器	4	0	8	3
都立大塚	4	0	2	4
明理会中央総合	4	1	0	1
関東中央	3	3	9	6
厚生中央	3	0	7	2
町田市民	3	3	5	4
東大和	3	1	4	6
佼成	3	0	4	3
佐々総合	3	0	0	1
慈恵医大葛飾医療センター	2	0	8	9
地・東京山手メディカルセンター	2	0	3	3
稲城市立	1	0	2	8
東京労災	1	0	2	1
日大板橋	1	0	0	1
東芝	0	0	3	5
JR東京総合	0	0	1	2
順天堂大練馬	0	0	0	14

「地・」は地域医療機能推進機構、「セ」はセンター。「—」は無回答または不明。